

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・スマイル西淀		
○保護者評価実施期間	8年 2月 9日		8年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	8年 2月 9日		8年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来を見据えた段階的な支援、資源を活用し関係機関との連携、地域との開けた交流の活動。本人、家族を取り巻く環境への包括的なアプローチ。	事業所側から積極的に働きを持ち掛け、随時コミュニケーションの機会を持ち「本人支援・家族支援」について検討している。外部研修や福祉に関わる必要な情報収集を行いスタッフのスキルアップや支援の拡がり可能性を当事者家族、周囲に対してアプローチしていく。	持続した地域交流の展開をしていく。またご家族様からは相談を受け付けやすい関係作りをし、意思疎通を取っていきま
2	支援目標に沿って利用児、スタッフの「したい」が形になる事を目指す環境作り。	関わる人が自由に表現、意思決定が出来る様に促し導く事に重きを置く。	様々な活動、業務に対し、PDCAサイクルを事業所全体で行う事。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日常の児童の事細かな変化・成長や活動取り組みの発信が十分でない可能性が伺える。	活動内容の工夫と見直しの質の向上。連絡帳での記載、表現の仕方とそれでは不足部分の補足手段。	活動している様子等の月間誌の配布の検討。活動内容の見直しと検討の強化。ご家族様の事業所への訪問の機会の提案。
2			
3			

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス・スマイル西淀

公表日 2026年 3月 4日

利用児童数 1

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。		1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。					1	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1					

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス・スマイル西淀		2026年 3月 4日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		特性に配慮した環境作りに努めています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		視覚的に理解が伴うように掲示物での視覚化	常時、利用児の特性に配慮しながら活動毎の目的に沿った環境作りを実施しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		常時、利用児の特性に配慮しながら活動毎の目的に沿った環境作りを実施しています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		常時、利用児の特性に配慮しながら活動毎の目的に沿った環境作りを実施しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		各スタッフとの気づき、視点の共有する。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			保護者様より頂いた内容を集計し、スタッフ全体で内容の周知徹底に努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		ミーティング以外にも情報共有を随時行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		年間計画に加え、随時施設内外での研修、学習会に積極的に参加しています。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		作成、公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			個人の特性、成長段階を各職域から全体絵支援できるようにスタッフ全体で実施している。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		モニタリング⇒家族面談⇒計画作成の工程に各スタッフが参画し、より望ましい支援内容の検討、選定を行っている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		各項目の内容、目的の理解を深め、設定した内容の実施を行っている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		内容毎に主体スタッフを置き替えながらその他サポートスタッフで立案を行っている。	その他のデイサービスの取り組み等も参考に内容の検討をしていく。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	柔軟に活動が出来る様に各スタッフの提案、また児童からの提案の内容に目的を含め様々な活動を実践している。	その他のデイサービスの取り組み等も参考に内容の検討をしていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	全体と個別とを組み合わせる内容の創意工夫を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	管理者に加え、各指導員も参画し日頃の様子、支援方針について発言の機会を持っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	各利用児の関係先との情報共有、連携を適切に随時行っている。	各機関の特性を理解して当事業所も率先して仲介的な役割も担っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	情報提供を行い、その後も関係機関と連携を維持しながら地域での本人等の成長の見守り、相談を行っている。	各機関の特性を理解して当事業所も率先して仲介的な役割も担っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	就学先の関係者も事業所に招き、現在の成長の段階、様子を見てもらい継続した関係の形成、維持を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	交流の機会を持っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	現状は限定的な機会のみであるが話題を調整し企画し家族会の実践を行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	実施している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	本人の意思、意向も汲み取りながら御家族様と望ましい利用の形について話し合いを行います。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		実施している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		形式に問わず随時行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		現状は限定的な機会のみであるが話題を調整し企画し家族会の実践を行っている。ご家族様とも都合が合う場合に限り、ご兄弟も事業所に訪ねてもらい交流の機会を持っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		迅速かつ状況に応じて必要な対応をし、その後の改善と再発防止について検討した対応に努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		実施している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		実施している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		地域の福祉事業所や公共機関を訪問し交流をしたり、地域の商店等と協力を得て合同のレクリエーションを実施したり等を行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		把握している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		実施している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		外部研修等にも参加し理解を深めている。適宜スタッフ間の支援関わりの見直しについても話し合いを行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		記載している。	

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・スマイル西淀		
○保護者評価実施期間	8年 2月 9日		8年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	8年 2月 9日		8年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来を見据えた段階的な支援、資源を活用し関係機関との連携、地域との開けた交流の活動。本人、家族を取り巻く環境への包括的なアプローチ。	事業所側から積極的に働きを持ち掛け、随時コミュニケーションの機会を持ち「本人支援・家族支援」について検討している。外部研修や福祉に関わる必要な情報収集を行いスタッフのスキルアップや支援の拡がり可能性を当事者家族、周囲に対してアプローチしていく。	持続した地域交流の展開をしていく。またご家族様からは相談を受け付けやすい関係作りをし、意思疎通を取っていきます。
2	支援目標に沿って利用児、スタッフの「したい」が形になる事を目指す環境作り。	関わる人が自由に表現、意思決定が出来る様に促し導く事に重きを置く。	様々な活動、業務に対し、PDCAサイクルを事業所全体で行う事。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日常の児童の事細かな変化・成長や活動取り組みの発信が十分でない可能性が伺える。	活動内容の工夫と見直しの質の向上。連絡帳での記載、表現の仕方とそれでは不足部分の補足手段。	活動している様子等の月間誌の配布の検討。活動内容の見直しと検討の強化。ご家族様の事業所への訪問の機会の提案。
2			
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス・スマイル西淀

公表日 2026年 3月 4日

利用児童数

16

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12			1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく快適化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1		1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	1	5		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10		1	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	1	3		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	1	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10		1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	1		1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1				

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス・スマイル西淀				公表日	2026年 3月 4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		特性に配慮した環境作りに努めています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		視覚的に理解が伴うように掲示物での視覚化	常時、利用児の特性に配慮しながら活動毎の目的に沿った環境作りを実施しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		常時、利用児の特性に配慮しながら活動毎の目的に沿った環境作りを実施しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		常時、利用児の特性に配慮しながら活動毎の目的に沿った環境作りを実施しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		各スタッフとの気づき、視点の共有する。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			保護者様より頂いた内容を集計し、スタッフ全体で内容の周知徹底に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		ミーティング以外にも情報共有を随時行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		年間計画に加え、随時施設内外での研修、学習会に積極的に参加しています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		作成、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			個人の特性、成長段階を各職域から全体絵支援できるようにスタッフ全体で実施している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		モニタリング⇒家族面談⇒計画作成の工程に各スタッフが参画し、より望ましい支援内容の検討、選定を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		各項目の内容、目的の理解を深め、設定した内容の実施を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		内容毎に主体スタッフを置き替えながらその他サポートスタッフで立案を行っている。	その他のデイサービスの取り組み等も参考に内容の検討をしていく。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	柔軟に活動が出来る様に各スタッフの提案、また児童からの提案の内容に目的を含め様々な活動を実践している。	その他のデイサービスの取り組み等も参考に内容の検討をしていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	全体と個別とを組み合わせ内容の創意工夫を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	管理者に加え、各指導員も参画し日頃の様子、支援方針について発言の機会を持っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	各利用児の関係先との情報共有、連携を適切に随時行っている。	各機関の特性を理解して当事業所も率先して仲介的な役割も担っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	実施している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	就学前の関係者も事業所に招き、現在の成長の段階、様子を見てもらい継続した関係の形成、維持を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	情報提供を行い、その後も関係機関と連携を維持しながら地域での本人等の成長の見守り、相談を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	地域の催し物に参加したりし交流の機会を持っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	各指導員も管理者に同行し事業所として参画している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	現状は限定的な機会のみであるが話題を調整し企画し家族会の実践を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	本人の意思、意向も汲み取りながら御家族様と望ましい利用の形をについて話し合いを行います。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	実施している。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		形式に問わず随時行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		現状は限定的な機会のみであるが話題を調整し企画し家族会の実践を行っている。ご家族様とも都合が合う場合に限り、ご兄弟も事業所に訪ねてもらい交流の機会を持っている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		迅速かつ状況に応じて必要な対応をし、その後の改善と再発防止について検討した対応に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		実施している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		実施している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		地域の福祉事業所や公共機関を訪問し交流をしたり、地域の商店等と協力を得て合同のレクリエーションを実施したり等を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		把握している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		外部研修等にも参加し理解を深めている。適宜スタッフ間の支援関わりの見直しについても話し合いを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		記載している。		